



古今類考
巻之四





山家集下
 同
 新拾遺四
 新拾遺三
 新拾遺二
 拾遺負外
 拾遺負中
 拾遺負上
 拾遺負外
 山家集上

あつたの心はさかすか
 我らもさかすか
 ちかちかの昔はまきく
 思ひ移りてさかすか
 いふ世のあつた心は
 おぼろげなりさかすか
 園もたつたあつた心
 秋山乃いさかすか
 あつた心はさかすか
 善くけりさかすか
 さかすかの心はさかすか
 秋乃あつた心はさかすか
 表もさかすか
 長月のあつた心はさかすか
 枯れさかすか
 あつた心はさかすか

ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか
 ゆらゆらさかすか

基俊
 源和氏
 若原盛経
 源兼康
 源真法
 源成茂
 和泉式部
 源景徳



涼園內會集題

每歲五但正月十日

田名景

好鄉梅

水色佳

樓中花

尋河馬

意轉舟

詩相橙

效月秋

思水紫

離秋菊

烟代香

然場愛

拾玉集三

新勅書下

拾遺書上

同下

拾玉集二

新拾雅中

拾遺書上

山家集下

千載秋下

拾玉集四

金葉雜上

新拾雅引

山家集上

新勅書下

同書上

新拾雅中

古今卷一

壬生二系中

むらさき... 葉の

花の... 葉の

もも... 葉の

はる... 葉の

武蔵... 葉の

さくら... 葉の

秋... 葉の

人... 葉の

あ... 葉の

月... 葉の

小山... 葉の

和... 葉の

日... 葉の

い... 葉の

と... 葉の

古今... 葉の

壬生... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

前大納言

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

拾遺書上

長秋詠藻

拾遺書上

新勅書三

新勅書上

新勅書下

風雅冬

新千秋下

新拾雅上

新拾雅中

新拾雅下

新勅書四

拾遺書上

新勅書

新勅書

風雅冬

新勅書

風雅冬

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

ゆり... 葉の

前大納言

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

人丸

後三位

基俊

後古秋下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後撰離別 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 河花秋 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新勅古 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 玉葉秋下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 風雅秋中 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新葉秋下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 大和物語 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後子羅羅 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 風雅秋中 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新古羅羅 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新葉羅羅 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新後古 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新拾秋上 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 拾遺愚草 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新後古秋下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 拾遺愚草 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は

壬生二上 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 古今物名 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 拾遺負外上 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 壬生二下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 風雅雜中 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 同 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後子羅羅上 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新勅物名 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 壬生二下中 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 拾遺愚草上 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新古古 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後衣一 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後拾秋下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 夕顔 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後拾秋下 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新後古古 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 後古靴中 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は
 新後古古 秋の野の花をみる水は 秋の野の花をみる水は

三条院
 赤澤出門
 大江加言
 後古古
 壬生二上
 前中納言定家
 平宗宣朝臣
 鴨長明
 格中納言眞行
 衣笠内大臣
 正三位知家
 前中納言定家
 伏見院
 前中納言有光
 大江廣茂
 鴨光忠
 壬生右見
 衣笠内大臣
 前中納言定家
 正三位成成
 大江頼重
 養徳院贈本

新勅意一 浪川和のあはれはまはらるるを
 玉葉秋下 五重たれはれはるるを 六重たれ
 同花意下 夕暮はまはらるる物を今つら
 及撰離別 行と思ふまはらるるをけりて
 拾遺別 浪のうへまはらるる小娘はまはら
 及撰雜一 まはらるるはまはらるるありのり
 及撰拾遺別 振ねはるるまはらるる中はまはらるる
 新撰古雜上 秋のたれはまはらるるまはらるる
 同書下 此はたれはまはらるるまはらるる
 土生二不中 まはらるるまはらるるまはらるる
 拾遺愚草中 そのへ乃わらるるまはらるる
 新撰古文 まはらるるまはらるるまはらるる
 風雅冬 小山田やまはらるるのまはらるる風
 玉葉秋上 まはらるるまはらるるまはらるる
 同撰雜 まはらるるまはらるるまはらるる
 山家集下 ちりつてまはらるるまはらるる
 友裏集 ちれはまはらるるまはらるるまはらるる

風雅春下 まはらるるまはらるるまはらるる
 拾玉集三 まはらるるまはらるるまはらるる
 同一 月まはらるるまはらるるまはらるる
 新子器様 うらまはらるるまはらるるまはらるる
 及撰春下 吹風のまはらるるまはらるるまはらるる
 古今秋下 秋風まはらるるまはらるるまはらるる
 及撰上 其風や梅乃白ひまはらるるまはらるる
 新葉冬 吹ゆまはらるるまはらるるまはらるる
 新撰秋下 ゆまはらるるまはらるるまはらるる
 拾玉集五 三まはらるるまはらるるまはらるる
 須磨 かまはらるるまはらるるまはらるる
 拾玉集三 君うたれまはらるるまはらるるまはらるる
 古今雜下 おはの嵐の風まはらるるまはらるる
 玉葉秋 まはらるるまはらるるまはらるる
 新古意一 雲乃まはらるるまはらるるまはらるる
 新撰拾遺 ちまはらるるまはらるるまはらるる
 拾遺愚草上 ゆまはらるるまはらるるまはらるる
 及撰雜中 まはらるるまはらるるまはらるる

皇太后大養後成
貫之

平家朝子

藤原基之

土御門院御製

前中納言定家

及伏見院御製

春か門院四条

永福門院

了雲法師

後頼朝片

及伏見院御製

及堀河院御製

よまはらるる

保良親朝片

前内大臣

及西園寺道隆

陰寛

院御製

及京師寺

晴吟

金葉秋

後拾遺撰

玉葉秋

凡雅雜中

新勅古三

同鞞務

玉葉秋

大和抄

玉葉雜二

後拾遺撰

新勅古秋下

拾遺愚草

新勅古志一

後拾遺撰

新勅古冬

新勅秋下

ありとてはくすれは又

いまより心ゆくさう

喜ぶ時をたのむるなみこ

秋の月けうをたのむる

大井川をたのむる

さきつれうこつと

東後の聖徳の御業

それのよやいあかり

山望まはうふもたえ

月夜より川をたのむる

それらのをまてと

旅人の道は山を

人ありの乃らけ

善くするのれを

落瀬つらうる

直月のさもよまぬ

秋はうらわらけ

若菜上

後古抄

後拾遺撰

壬生二下

拾遺雜賀

後拾遺撰

玉葉尺教

新勅古賀

新勅拾遺

後拾遺撰

壬生二上

玉葉賀

後拾遺撰

新勅拾遺

後拾遺撰

後拾遺撰

後拾遺撰

紀貫之

西三位知家

後原信實

前中納言實遠

後山院入道

藤原雅經

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

大伴

後子志二 ちりり ちりり ちりり ちりり
後拾遺二 ありあり ありあり ありあり ありあり
新拾遺上 ありあり ありあり ありあり ありあり
玉葉尺数 ありあり ありあり ありあり ありあり
新子志二 つらつら つらつら つらつら つらつら
後古友 むらむら むらむら むらむら むらむら
夕顔 ましまの ましまの ましまの ましまの
総角 きりきり きりきり きりきり きりきり
後拾遺中 ありあり ありあり ありあり ありあり
新葉哀傷 みつみつ みつみつ みつみつ みつみつ
新後古友三 つらつら つらつら つらつら つらつら
玉葉雜一 ありあり ありあり ありあり ありあり
同旅 ありあり ありあり ありあり ありあり
新葉志三 ありあり ありあり ありあり ありあり
新子雜下 むらむら むらむら むらむら むらむら
新後拾遺三 ありあり ありあり ありあり ありあり
月清集上 むらむら むらむら むらむら むらむら
玉葉秋下 むらむら むらむら むらむら むらむら

長秋詠藻 かりり かりり かりり かりり
新子志二 まま まま まま まま
後子雜中 あら あら あら あら
新後拾遺四 まま まま まま まま
後拾遺中 ありあり ありあり ありあり ありあり
新勅抄名 あら あら あら あら
後拾遺中 ありあり ありあり ありあり ありあり
新後拾遺五 ありあり ありあり ありあり ありあり
新勅抄上 ありあり ありあり ありあり ありあり
風雅旅 ありあり ありあり ありあり ありあり
月清集下 ありあり ありあり ありあり ありあり
新後古俳諧 ありあり ありあり ありあり ありあり
新後雜上 ありあり ありあり ありあり ありあり
新載秋下 ありあり ありあり ありあり ありあり
新拾秋上 ありあり ありあり ありあり ありあり
後千友 ありあり ありあり ありあり ありあり
後拾遺秋 ありあり ありあり ありあり ありあり

類白
中納言實前
從二位行家
前大僧正俊
後入道
醍醐院製
土山門院
入道三親善道助
新拾遺門院
二法親王兼
前太皇太后相
前中納言定家
民部卿光資
後聖屋前園直
指律師隆定
前中納言定家

類白
中納言實前
從二位行家
前大僧正俊
後入道
醍醐院製
土山門院
入道三親善道助
新拾遺門院
二法親王兼
前太皇太后相
前中納言定家
民部卿光資
後聖屋前園直
指律師隆定
前中納言定家

拾遺自然 今もあはれぬ 秋の風を乃まら
 新葉秋上 あはれぬ 秋の風を乃まら
 後拾遺四 うららかにあはれぬ 秋の風を乃まら
 新拾遺下 日暮してあはれぬ 秋の風を乃まら
 新葉秋上 つらうらにあはれぬ 秋の風を乃まら
 同轡旅 けしきもあはれぬ 秋の風を乃まら
 後古雅上 みくもあはれぬ 秋の風を乃まら
 後古雅上 吹風のうきよなりてあはれぬ 秋の風を乃まら
 新古雅上 乃らむをいふあはれぬ 秋の風を乃まら
 同雅秋下 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 玉葉集下 今もあはれぬ 秋の風を乃まら
 風雅秋中 うらむあはれぬ 秋の風を乃まら
 拾遺愚草 もろくあはれぬ 秋の風を乃まら
 新拾遺上 ささくあはれぬ 秋の風を乃まら
 新勅雅一 なげあはれぬ 秋の風を乃まら
 新古雅三 吹風あはれぬ 秋の風を乃まら
 後古雅下 月あはれぬ 秋の風を乃まら
 拾遺自然 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら

掌持子

薄雲門院

彈正親王

中納言

若菜長

伏見院

太上天皇

常盤井入道

近衛白

伏見院

開白前

若菜信實

前中納言

若菜光俊

晴蛉 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 拾遺集七 うらむあはれぬ 秋の風を乃まら
 風雅雅下 今もあはれぬ 秋の風を乃まら
 拾遺自然 うらむあはれぬ 秋の風を乃まら
 玉葉集上 なげあはれぬ 秋の風を乃まら
 同雅三 吹風あはれぬ 秋の風を乃まら
 柏木 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 壬生二品上 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 拾遺集四 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 拾遺愚草 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 同上 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 後拾遺秋 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 新葉秋上 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 新古雅上 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 新古雅上 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 夕顔 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 新千雅下 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら
 新葉上 秋のあはれぬ 秋の風を乃まら

從三位盛親

左近大納言

後三位

光俊

中納言

太上天皇

養徳院

若菜宗行

前中納言

若菜宗行

前中納言

雑草

中

拾遺愚草六いよひのうらりてさしむる山

ゆつおのぼりあはれ下り

後醍醐寺在奇

後拾遺二 意まむむゆく事然るふさひ

ゆつおのうらりてさしむる山

前大納言良民

凡雅雅中 山風ささるねのねはかきま

ゆつおのうらりてさしむる山

如願法師

新小冬 菊のあもちりねささる山風は

ゆつおのうらりてさしむる山

常時寺僧深

壬生二下 ちむねれきまき山をさる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新小冬二 我まへね事もさる山風さ

ゆつおのうらりてさしむる山

伏見院製

玉葉秋下 秋風の尾上は松よささる

ゆつおのうらりてさしむる山

太上天白王

拾遺貞年 今世のまはる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

後小秋上 むさあは桐の葉さるを西の

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新古哀傷 なき人のかゝる山風ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

後拾遺集 いうへをさるささる山乃

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新勅意三 うつねのまはる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

壬生二中 妻くはねね山をさる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

拾遺貞年 なるまはる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

月清集上 浪ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

拾玉集五 うつねのまはる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

同二 いうへをさるささる山乃

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新古言 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

壬生二下 みささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新小冬一 人志ね思ふささる山乃

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

後衣二 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花秋 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新後古雅上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

玉葉集上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

山家集上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新葉冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

同作紙 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

若菜下 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

後小冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新葉集上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

玉葉集上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

玉葉集上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新小冬二 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

玉葉集上 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

新小冬二 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

句花冬 山乃ささる山乃ささる

ゆつおのうらりてさしむる山

信三宗院製

難

加

玉葉秋上 かくしのさるるをいひしやあり 平通時
 後古秋下 涼き山の上のさるるのさるる 定題法師
 拾遺集草 昔は師も人のあはれなる 後子内親
 風雅文 日れ新を行くはゆきとさるる
 拾玉集三 志のさるるのさるるをいひし
 新拾巻 ひとさるるのさるるをいひし
 玉葉文 ひとさるるのさるるをいひし
 新拾巻上 八日さるるのさるるをいひし
 玉葉文 ひとさるるのさるるをいひし
 新拾巻上 ひとさるるのさるるをいひし
 風雅文 ひとさるるのさるるをいひし
 新葉雅上 ひとさるるのさるるをいひし
 後撰巻五 ひとさるるのさるるをいひし
 新後古三 ひとさるるのさるるをいひし
 古今巻三 ひとさるるのさるるをいひし

後撰巻五 風守のあはれなるをいひし
 秋衣一 あまのあはれなるをいひし
 玉生二下上 ひとさるるのさるるをいひし
 拾遺集上 まれ乃のさるるをいひし
 月清集上 ひとさるるのさるるをいひし
 新葉巻二 いのりなるをいひし
 後撰巻三 あはれなるをいひし
 新勅巻三 うりけるなるをいひし
 新後古三 ひとさるるのさるるをいひし
 後古巻三 ひとさるるのさるるをいひし
 後撰巻三 ひとさるるのさるるをいひし
 玉生二下下 ひとさるるのさるるをいひし
 新葉巻上 ひとさるるのさるるをいひし
 玉生二下下 ひとさるるのさるるをいひし
 後撰拾巻上 ひとさるるのさるるをいひし

平忠盛朝臣
 後子内親
 推宗忠景
 右京光俊
 中務景光
 法中法師
 持た丸

壬生二上 小倉山よりそ林と忍れぬ 中ひいほつと山あはれ
 風雅中 破山のけけりるはらみりそ 中ひいほつと山あはれ
 玉葉冬 ちんちんひる雲のそと風さうり 中ひいほつと山あはれ
 後千巻下 かきさうりさうりさうりねもあはれ 中ひいほつと山あはれ
 新千雅中 花代の山坂乃松のまねより 中ひいほつと山あはれ
 風雅中 比里乃むらひの村乃垣ねり 中ひいほつと山あはれ
 新拾秋下 日受のちうさうけつらぬらん 中ひいほつと山あはれ
 壬生二系中 かきさうりさうりさうりねもあはれ 中ひいほつと山あはれ
 新拾雅上 新ちうり山まゝ秋のこゑさうり 中ひいほつと山あはれ
 後拾撰冬 ちんちんひる雲のそと風さうり 中ひいほつと山あはれ
 玉葉秋上 ちんちんひる雲のそと風さうり 中ひいほつと山あはれ
 風雅秋上 うす雲れ山本さうり産鳴く 中ひいほつと山あはれ
 壬生二系中 いちめてさうりさのふんかきん 中ひいほつと山あはれ
 後拾雅上 紅乃うすさうりさのふんかきん 中ひいほつと山あはれ
 同秋上 村むれ雲れさうりさのふんかきん 中ひいほつと山あはれ
 玉葉報二 浦さうりさうりさのふんかきん 中ひいほつと山あはれ
 拾玉集三 けいけいさうりさのふんかきん 中ひいほつと山あはれ
 風雅秋上 秋風のそと風さうりさのふんかきん 中ひいほつと山あはれ

後拾秋下 さうりさのふんかきん 前大納言
 風雅秋上 ちんちんひる雲のそと風さうり 永福門院
 後千雅上 さうりさのふんかきん 権大納言
 風雅報 雲雲さうりさのふんかきん 院
 同文 さうりさのふんかきん 進内院
 新古撰後 猿人の袖さうりさのふんかきん 右京定家
 新後千巻下 さうりさのふんかきん 前大僧
 新拾冬 ちんちんひる雲のそと風さうり 法眼源
 新後千巻中 さうりさのふんかきん 法皇御製
 同文 さうりさのふんかきん 後三位基
 風雅報上 秋ちんちんひる雲のそと風さうり 後三位基
 拾遺愚草 ちんちんひる雲のそと風さうり 昭祐法師
 壬生二系中 ちんちんひる雲のそと風さうり 昭祐法師
 山家集下 ちんちんひる雲のそと風さうり 昭祐法師
 新後千巻秋 ちんちんひる雲のそと風さうり 昭祐法師
 壬生二系中 ちんちんひる雲のそと風さうり 昭祐法師
 拾遺愚草 ちんちんひる雲のそと風さうり 昭祐法師

玉葉春下 花をうらむるあはれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新拾遺上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 後拾遺 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新千載上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新陸古冬 白浪の関吹らむまきりし けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 山家集下 いづれは浪はあつむとみつら けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新葉冬 里よりあつむとみつら けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新拾遺冬 武隈の松乃みりもつら けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 玉葉冬 後拾遺 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 伊勢物語 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 玉葉冬一 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 古今集上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 松玉集四 山橋乃白糸みりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 後古葉集 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新古冬下 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新勅冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新陸古冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ

古今秋下 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 後拾遺上 梅の花はけりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 同羈旅 東風よけりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 後撰冬 神無月けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新古冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 後千載上 山雲の谷けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新古冬下 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 月清集上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新古冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 月清集下 白雲のけりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 長秋詠藻 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新陸古冬上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 拾遺集上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 玉葉冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 拾遺集四 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新陸古冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 新古冬上 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ
 後撰冬 けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ けりれ

風雅集上 甚すて花と竹を相うら ゆきよのふた谷乃煙末 春家高直
 金吾六 うは花のあまももて 吹流ぬれ ゆきそ花のうらなりなり 本庄定長
 拾遺集外 ちかれあはれまゝ乃又はたそ ゆきそははるまをた若 指中純言
 新後拾冬 けふの海は浪をひくまゝあはれ ゆきそかたは清海島山 侍従行家
 後古今冬 ぬきあはれぬきあはれぬきあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 古今春下 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾玉集四 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 山家集上 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾遺集外 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 月清集下 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾玉集五 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾遺集外下 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 後撰集外 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 後撰集外 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 月清集下 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 壬生二系上 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾玉集四 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 同 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々

山家集下 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 月清集上 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 新葉冬 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾玉集三 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 同二 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 壬生二系中 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾玉集六 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 後古今冬 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 新勅雑一 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 壬生二系中 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 風雅集上 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾玉集八 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 同 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 玉翠冬 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々
 拾遺集外上 けふのまをむく風のあはれ ゆきそあはれぬきあはれ 久々

前僧正仁澄

権大納言三彦

左近中納言

後二位右衛門

右大臣信實

右大臣信實

二五法親王仁言

二五法親王仁言

総角

大和初發

古今雜記

大和地評

後拾遺上

新拾遺上

子裁冬

拾遺食外

新拾遺上

拾遺集四

壬生二系中

長秋詠集

拾遺愚草上

壬生二系中

同上

拾遺集八

何花長

壬生二系中

思ふはてふあつくりの春ま

山里よの山をこめてつれなれ

君のゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

きまのゆくへの白山あふねとも

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

有原の山

新子集上

拾遺集三

拾遺集上

新千雜上

子裁名

拾遺集五

壬生二系上

子裁秋上

新拾遺集

壬生二系中

拾遺愚草

千載春上

後拾遺冬

壬生二系上

玉葉冬

後千冬

拾遺集八

山家集上

咲きわたる花のさかづき

風つらな枝のさかづき

とむらあふらうとのさかづき

たまごのさかづき

ちとてくさのさかづき

あひひくさのさかづき

下へくさのさかづき

照月れおのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ちとてくさのさかづき

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

ゆきのまはくちかたうら

源五氏卿

千載法師

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

源俊親

拾玉集七 月入林... 新玉集三

いさろく子... 赤人

同書上 姉... 拾玉集七

いさ... 赤人

凡雅冬 ち... 拾玉集四

いさ... 章義門院

拾玉集四 ぬ... 月清集下

いさ... 常盤井入道

月清集下 け... 後子書上

いさ... 常盤井入道

後子書上 白... 壬生二系上

いさ... 常盤井入道

壬生二系上 花... 新玉集上

いさ... 常盤井入道

新玉集上 若... 後拾遺新

いさ... 中務

後拾遺新 い... 凡雅書上

いさ... 氏名為定

凡雅書上 多... 後拾遺春上

いさ... 順徳院内制衣

後拾遺春上 後... 凡雅書上

いさ... 後宇多院書

凡雅書上 二... 拾遺冬草

いさ... 順法院内制衣

拾遺冬草 雲... 新玉集上

いさ... 順法院内制衣

新玉集上 今... 壬生二系中

いさ... 順法院内制衣

壬生二系中 炭... 月清集上

いさ... 順法院内制衣

月清集上 山... 新玉書上

いさ... 後醍醐太政大臣

新玉書上 冬... 拾遺夏外上

いさ... 大絶言為氏

拾遺夏外上 ち... 新玉書上

いさ... 氏名長家

新玉書上 さ... 後拾遺冬

いさ... 後二位為隆

後拾遺冬 さ... 後古春上

いさ... 伏見院書

後古春上 其... 凡雅冬

いさ... 皇后履時

凡雅冬 精... 金葉冬

いさ... 皇后履時

金葉冬 正... 壬生二系中

いさ... 皇后履時

壬生二系中 よ... 古今冬

いさ... 皇后履時

古今冬 こ... 玉葉書上

いさ... 皇后履時

玉葉書上 日... 長秋詠澤

いさ... 皇后履時

長秋詠澤 そ... 新玉書上

いさ... 皇后履時

新玉書上 山... 子裁冬

いさ... 皇后履時

子裁冬 浪... 後拾遺冬

いさ... 皇后履時

後拾遺冬 後... 新玉書上

いさ... 皇后履時

新玉書上 後... 拾遺冬

いさ... 皇后履時

拾遺冬 後... 新玉書上

いさ... 皇后履時

新玉書上 後... 拾遺冬

いさ... 皇后履時

長秋詠藻下

新葉冬

新勅雜二

壬生二上

山家集下

壬生二上

新勅冬

同冬

新勅冬

後拾遺下

長秋詠藻下

後拾遺冬

新勅拾冬

同冬

壬生二下

新古雜下

後拾遺冬

長秋詠藻下

新葉冬

新勅雜二

壬生二上

山家集下

壬生二上

新勅冬

同冬

新勅冬

後拾遺下

長秋詠藻下

後拾遺冬

新勅拾冬

同冬

壬生二下

新古雜下

後拾遺冬

白砂乃梅枝

甚きそむく

月八秋

わん

さ

浮雲

甚日

あ

み

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

僧於下性

二法親王聖書

後勅拾片

曾孫好忠

西行法師

後三位朝政

指大納言長家

紀式部

法下願詮

菅贈太政大臣

中片拾遺下

大江巨房

宝徳院贈太

民乃為世

左近中師良

冬秋雅經

曾孫好忠

中納言賢季

良暹法師

けつひの

曾孫好忠

前奉後為嗣

中納言宗良

同冬

同冬

同冬

同冬

同冬

同冬

同冬

同冬

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

類句

拾遺愚草上

若草の里乃ちのむねに

ゆきのあはれなき

信實の

後拾遺冬

田子のあはれなき

ゆきのあはれなき

信實の

後古秋上

打まねくうき

ゆきのあはれなき

中絶言

若草

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

新拾遺秋

君のあはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

後拾遺雅

かみすけのあはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

壬生二上

月をいよの

ゆきのあはれなき

中絶言

風雅三

人のあはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

壬生二下

うきをいよの

ゆきのあはれなき

中絶言

風雅二

いよのあはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

後千三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

同五

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

壬生二上

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

後拾遺雅

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

同

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

強拾遺下

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

お葉三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

風雅二

うきをいよの

ゆきのあはれなき

中絶言

同雅下

いよのあはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

同雅

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

拾玉集一

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

古今三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

後拾遺三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

後撰三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

新勅三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

拾玉集七

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

拾遺愚草

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

新雅三

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

同四

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

拾玉集一

あはれなき

ゆきのあはれなき

中絶言

平貞國

信實の

中絶言

後三位光成

お大徳言

後三位光成

山家集下
 新後古三 うちもあひつてそらよらう
 新後古教 さらりぬらぬのこけりう
 新後拾遺 ちうたよむをわらてあまらう
 新葉文 田のなる園れうらうらう
 新後古文 ちうたよむをわらてあまらう
 拾遺草下 いたりの雅あひつてかまらん
 後拾遺下 うつとてうつとてあまらう
 拾遺草下 さむあひつてあまらう
 新葉文 ちうたよむをわらてあまらう
 千載文 ちうたよむをわらてあまらう
 拾玉集一 ちうたよむをわらてあまらう
 五葉雜四 ちうたよむをわらてあまらう
 拾玉集四 ちうたよむをわらてあまらう
 拾遺自外 ちうたよむをわらてあまらう
 月清集下 ちうたよむをわらてあまらう
 拾玉集二 ちうたよむをわらてあまらう
 後拾遺文 ちうたよむをわらてあまらう

ゆりよあまらうとねすきびる
 良岑宗貞
 法服玄融
 平政村現良
 九河内新恒
 建礼門院
 法長長非
 皇太后
 今出河院
 俊惠法師
 若原季直
 若原清直

拾遺雜賀 人あはれうらうらう
 大和池原 人あはれうらうらう
 拾遺草上 ちうたよむをわらてあまらう
 新後雜下 ちうたよむをわらてあまらう
 後古文又 ちうたよむをわらてあまらう
 壬生二下 ちうたよむをわらてあまらう
 新後拾遺下 ちうたよむをわらてあまらう
 壬生二下中 ちうたよむをわらてあまらう
 五葉文又 ちうたよむをわらてあまらう
 新後拾遺旅 ちうたよむをわらてあまらう
 後拾遺文二 ちうたよむをわらてあまらう
 新後文一 ちうたよむをわらてあまらう
 千載文四 ちうたよむをわらてあまらう
 壬生二上 ちうたよむをわらてあまらう
 千載雜中 ちうたよむをわらてあまらう
 後衣三 ちうたよむをわらてあまらう
 後衣下 ちうたよむをわらてあまらう
 壬生二上 ちうたよむをわらてあまらう

ゆりよあまらうとねすきびる
 良岑宗貞
 法服玄融
 平政村現良
 九河内新恒
 建礼門院
 法長長非
 皇太后
 今出河院
 俊惠法師
 若原季直
 若原清直

壬生二下 其乃世のありる月夜をいふは ゆめあひぬればあけ
 新勅三 重きやうりやとささるまは ゆめあひぬればあけ 大徳のまへ
 新古尺教 別しそれあつたけのまは ゆめあひぬればあけ 宗徳法師
 新勅三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 大徳言實家
 金葉三下 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 源信宗朝
 後拾遺下 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 伴勢
 新勅拾遺二 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 法下善母
 後拾遺三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 推宗威長
 伴勢地強 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ
 新古尺教 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 在る業平
 新勅拾遺三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 後醍醐院
 壬生二上 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 左兵衛督
 新勅三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 左と大徳長
 新勅四 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 後大徳言
 風雅三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 基俊
 新古尺教 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 二條院
 新勅三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ

後拾遺三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 能因法師
 古今三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 友系おきせ
 新勅下 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 安和門院
 玉葉三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 実方下
 新勅上 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 卜部直
 風雅尺教 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 大徳言實家
 新古尺教 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 大徳言實家
 大和抄 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ
 後拾遺下 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 蓮の法師
 拾遺愚草 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 新勅中 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 後千三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 新勅三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 新勅下 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 古今三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 後拾遺三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 後拾遺三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道
 後拾遺三 うちあひぬればあけのまは ゆめあひぬればあけ 按察入道

新古今三
つよむをみよし
赤澤徳門

拾遺集七
志本は金谷野中
関白太政大臣

後拾遺集
静なる光の縁
法皇尊家

後古哀傷
今さうにわらわ
或子内親王

後拾遺三
つれまじきもの
後二位太子

凡雅三
うき中れは
後二位太子

壬生二下
まの月のけ
後二位太子

拾遺三
まき紙何より
後二位太子

拾遺集六
つひわては
後二位太子

同二
終夜抱あり
西行法師

新後雅下
おろろぬら
西行法師

拾遺集四
月もろぬら
前関白太政大臣

凡雅下
清りとも
前関白太政大臣

新後古教
もろろとほ
後醍醐天皇

新古今二
かほろとほ
後醍醐天皇

若菜下
あきこれ
後醍醐天皇

壬生二上
後白河す
後醍醐天皇

若菜三
まのつら
後醍醐天皇

凡雅三
まのつら
前大納言

拾遺集
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

拾遺集三
あきこれ
前大納言

古今三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

後三
あきこれ
前大納言

拾遺愚皇

白雲乃あつと

いん

いん

いん

後念

玉母三

信くくかきん

ゆあけ

後念

拾玉集四

みきり

ゆあけ

今念

新子集四

世中らぬ

ゆあけ

今念

同念三

きぬ

ゆあけ

今念

子載書上

あつ

ゆあけ

今念

風雅雜下

人の世

ゆあけ

今念

後拾尺教

ぬる

ゆあけ

今念

山家集下

もろ

ゆあけ

今念

長秋詠藻下

うつ

ゆあけ

今念

古今春下

やう

ゆあけ

今念

新後雜中

うき

ゆあけ

今念

後撰集傷

か

ゆあけ

今念

千載野影

後

ゆあけ

今念

新拾雅中

ゆあ

ゆあけ

今念

後拾雅下

よ

ゆあけ

今念

山家集上

よ

ゆあけ

今念

月清集上

い

ゆあけ

今念

新古今

あ

ゆあけ

今念

壬生二下

い

ゆあけ

今念

拾玉集六

う

ゆあけ

今念

後拾拾三

西

ゆあけ

今念

新後古今

う

ゆあけ

今念

玉葉雜五

な

ゆあけ

今念

山家集下

玉

ゆあけ

今念

新後野影

き

ゆあけ

今念

新拾三

う

ゆあけ

今念

新葉三

う

ゆあけ

今念

後子集傷

西

ゆあけ

今念

古今三

う

ゆあけ

今念

後拾三

後

ゆあけ

今念

後千雅下

い

ゆあけ

今念

新後古雅下

ぬ

ゆあけ

今念

玉葉集教

ゆ

ゆあけ

今念

夕雲

い

ゆあけ

今念

後念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

今念

孩古林上 夕なれや雪の深きと嘆く世の... 中勢の歌曰
 古今各一 世中の如くして五のれつ風の... 二信院後成
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 変納多為志
 風雅急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 後撰急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林下 物知りふくろけをよめりて... 清心
 山家集下 物知りふくろけをよめりて... 清心
 拾遺思堂 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 新古今下 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 山家集上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 新古今一 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 古今急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 拾遺急言 物知りふくろけをよめりて... 清心

孩古林上 夕なれや雪の深きと嘆く世の... 中勢の歌曰
 風雅急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 山家集上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 新古今一 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 古今急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 拾遺急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 山家集上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 新古今一 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 古今急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 拾遺急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 山家集上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 新古今一 物知りふくろけをよめりて... 清心
 孩古林上 物知りふくろけをよめりて... 清心
 古今急言 物知りふくろけをよめりて... 清心
 拾遺急言 物知りふくろけをよめりて... 清心

清源

三行のうらみ

いづれもえよ

お伊豆守

五葉集五

後つゝもひつり

めりしあま

源五葉下

風雅三

乙女子の重た

めりしあま

氏初

拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草上

とみは

めりしあま

氏初

月清集

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草上

とみは

めりしあま

氏初

新古今和歌集

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草上

とみは

めりしあま

氏初

新古今和歌集

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草上

とみは

めりしあま

氏初

新古今和歌集

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草上

とみは

めりしあま

氏初

新古今和歌集

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

拾遺草上

とみは

めりしあま

氏初

新古今和歌集

とみは

めりしあま

氏初

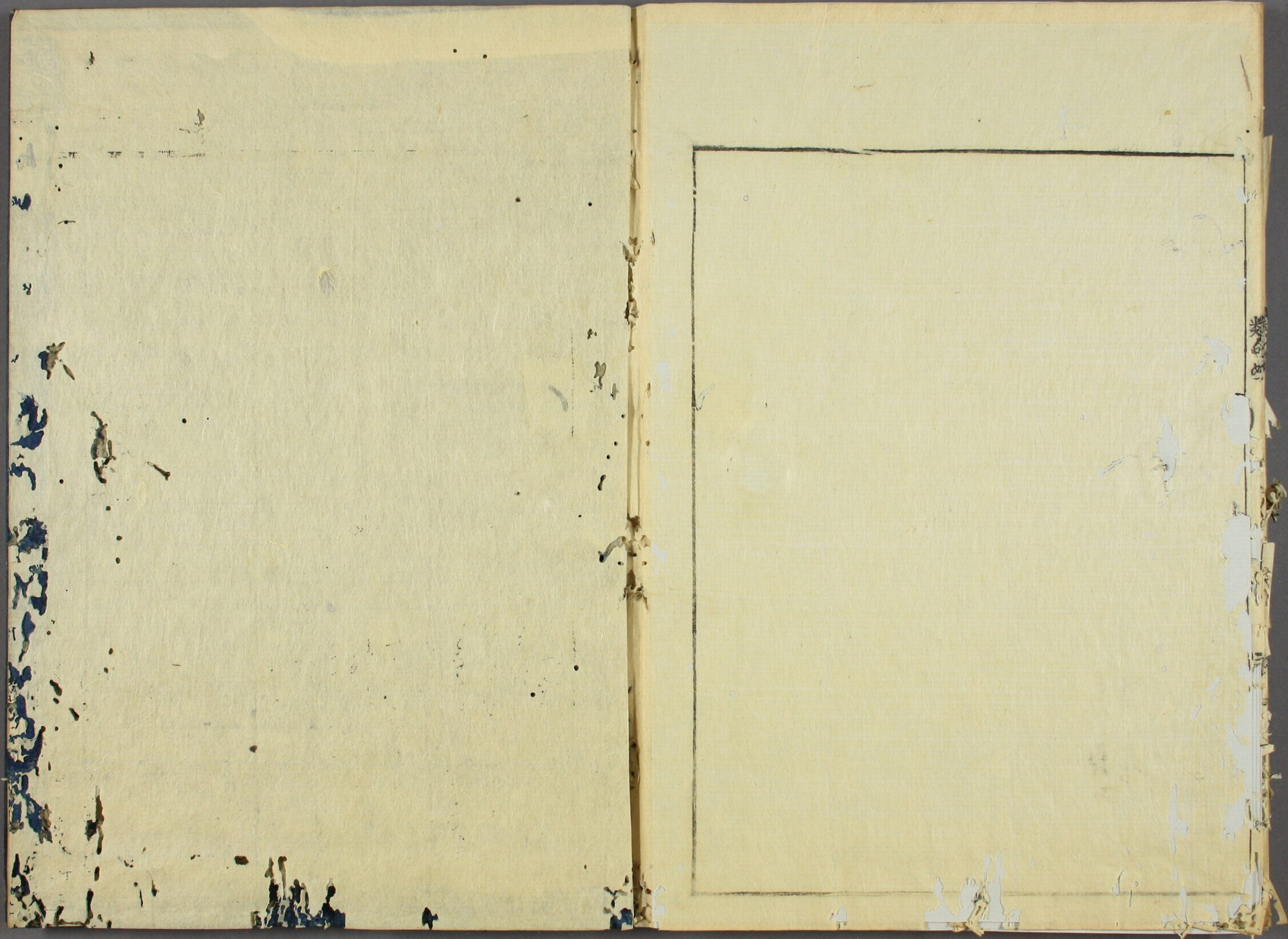
拾遺草中

とみは

めりしあま

氏初

山家集下 和のそとせり川くまみ人ん ぬりあてせてや 城ありて 堀川右大臣



卷之四

